

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月19日実施)	総合評価(3月27日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①基礎学力の定着、専門教育の充実、共通教科と専門教科のバランスに配慮した教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 ②学校行事や生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的行動の促進を図る。	①生徒が主体的に取り組むことができる授業を通して生徒の学習意欲を向上させる。 ②学校行事や生徒会行事の活性化を図る。	①生徒が主体的に授業に取り組めるよう、複数の教員での対応や学習サポート員等を利用した組織的な授業改善を図る。また、アクティブラーニングの視点に立った授業改善のための研修を実施する。 ②学校行事や生徒会行事の活性化のため、事前・事後指導を充実させるとともに、学年を超えた行事への参加形態について検討を図る。	①生徒による授業評価における「授業中生徒同士で話し合う機会などがある」の項目において、「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」合せて、75%以上となったか。 ②学校行事や生徒会行事の参加率が75%以上となったか。	①7月に実施した1回目の授業評価では、78.9%であった。また、12月に実施した2回目では、76.9%であった。 ②マラソン大会、体育祭、文化祭の平均出席率は、77%であった。	①来年度も、引き続き組織的な授業改善の研究・実践を行い、授業評価において、今年度の目標値を超えるよう努める。 ②休日に行われる行事の参加率がやや低い傾向にある。早期に連絡をするなど、出席率の向上に努める。	①引き続き生徒が主体的に授業に取り組むことができるよう努力をしてほしい。	①学習への理解度にばらつきのある生徒が多い中、学習サポート員等を配置するなど複数の教員で対応し、きめ細かな指導ができた。 ①生徒が主体的に授業に取り組むような授業改善の取組が必要である ②休日に行われる行事について、生徒の参加率向上に課題を残した。	①引き続き複数の教員での対応等、個々の生徒の理解度に対応した学習指導に努める。 ①生徒が主体的に授業に取り組むよう、授業改善研修を充実させる。 ②休日に行う行事について、事前指導を充実させる。 ③文化祭等の行事における学年を超えた参加形態を考える。
2	生徒指導・支援	①基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かな生活指導に取り組むとともに、個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を確立する。 ②部活動の活性化を通して、生徒の達成感・連帯感・責任感を涵養する。	①生徒の情報を職員全体で共有し、それに基づき、個にあった支援を組織的に行う。 ②部活動の継続的な活動を推進するとともに、計画を立てて活動を行う。	①職員間で生徒の情報の共有を進めるとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールメンター、あるいは外部の機関と連携しながらそれぞれの生徒に応じた支援・指導を進める。 ②学期ごとに部活動の計画を立て、実施する。また、活動状況を記録し、その後の計画に役立て、部活動の活性化を図る。	①生徒情報を共有する機会を持つことができたか。また、外部機関等と連携することができたか。 ②年間を通じて活動状況の把握ができたか。学期ごとに計画を立てることができたか。	①生徒情報を共有する機会を4月と、10月に実施した。また、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールメンターと連携し、生徒に応じた支援・指導を行うことができた。 ②部活動の活動状況調査を毎日実施した。また、毎学期、部活動集会を実施し、学期ごとの計画を立てることができた。	①来年度も、生徒情報の共有化に努め、外部の機関等との連携を行うなど、個にあった支援を組織的に進めていく。 ②部活動を計画的に継続していくために、引き続き部活動状況調査や部活動集会を実施する。	①車両通学をしている一部の生徒の騒音について、指導をお願いしたい。	①生徒の情報を職員全体で共有する体制ができています。しかし、外部機関等との連携については、組織的な対応が必要である。 ①車両通学について、交通安全指導を含めた指導をする必要がある。 ②活発に活動している部に対する支援が必要である。	①引き続き職員間で生徒情報の共有に努めるとともに、スクールソーシャルワーカーや外部機関との連携については、組織的な対応を行う。 ①車両通学の生徒に対する指導を検討するとともに、交通安全指導を充実させる。 ②活発に活動している部の発表の機会を充実させる。
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導・支援の充実を図る。 ②これからの時代を生きて行く上で必要な資質・能力を育成するためのキャリア教育を推進する。	①生徒個々の進路希望を把握し、進路実現のために早い段階より計画的に指導を行う。 ②キャリア教育を推進するためのプログラムを精選し実施する。	①面談等を通して、生徒個々の進路希望を把握し、意識付けをするとともに必要な指導を行う。 ②キャリア教育を推進するため、講演会等のプログラムを実施する。	①生徒個々の進路希望を把握し、指導を行うことができたか。 ②キャリア教育を推進するための企画を実施できたか。	①生徒個々の進路希望を把握し、指導を行った結果、就職を希望した生徒全員が内定をもらった。 ②7月に、本校卒業生を招いて、キャリア講演会を実施した。また、租税教室、年金セミナーも実施した。	①進路実現に向けて、早い段階からの希望調査等を行い、実現に向けた指導を行う。 ②引き続きキャリア教育の推進のための行事等を精選して行っていく。	①社会人としての必要な心構えや知識を身に付けさせるため、キャリア教育の充実に向けてほしい。	①多くの生徒が最終的に進路を決定しているが、卒業直前に進路が決まる生徒もいたため、できるだけ早い段階での意識付けが必要である。 ②キャリア講演会は、生徒の進路意識向上に役立っている。	①進路指導については、担任だけでなく学年やグループ等による組織的な対応に努める。 ②生徒に社会人としての意識付けを行うため、講演会等を充実させる。

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月19日実施)	総合評価(3月27日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<p>①地域産業・地域社会との連携・協働による教育活動の充実に取り組む。</p> <p>②地域や中学生に工業高校や定時制の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。</p>	<p>①地域産業・地域社会との連携・協働を教育活動に取り組む。</p> <p>②定時制の特色や最新情報を発信するための環境整備を行い、広報活動を充実させる。</p>	<p>①文化祭に地域住民を招くなど、地域との連携・協働した行事を実施する。</p> <p>②今年度入学生の出身中学校に訪問し、近況を伝えるとともに、定時制工業高校を広報する。また、動画の導入等、ホームページの充実を図る。</p>	<p>①地域と連携・協働した行事を実施したか。</p> <p>②各種広報活動を実施したか。</p> <p>②ホームページを定期的に更新したか。また、その内容を充実したか。</p>	<p>①地域貢献活動として学校近隣の清掃活動を実施した。桜井小学校で行われた桜井キッズ・フェスタに生徒が参加した。体育祭、文化祭、防災教室等地域住民を招き、連携を図った。</p> <p>②町内回覧文書を作成し、定時制の広報活動に努めた。</p> <p>③定時制のホームページを作成した。</p>	<p>①今年度の取組が生徒の自己肯定感を高めることにつながったので、来年度も引き続き積極的に地域等との協働に取り組む。</p> <p>②学校説明会、中学校訪問、個別相談会、授業見学会等の広報活動を総括し、来年度は、更なる充実に取り組む。</p> <p>③定時制ホームページの充実に向けた取組を行う。</p>	<p>① 桜井キッズ・フェスタ等で定時制の生徒の活動が地域に見えるようになってきた。</p>	<p>① 桜井キッズ・フェスタの取組は、生徒の自己肯定感の充実のためにも成果があった。</p> <p>② 定時制の生徒の活動を地域住民にも知ってもらうためには、広報活動の充実が重要である。特に定時制ホームページの更なる充実が必要である。</p>	<p>① 生徒の自己肯定感を育むとともに、地域住民に定時制生徒の活動を知ってもらうため、地域住民と生徒が交流する機会を充実させる。</p> <p>② 定時制の活動を紹介する学校ホームページの定期的な更新を行うなど広報活動を充実させる。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備、防災体制の整備に取り組む。</p> <p>②研修による意識啓発、業務の共有・協働・効率化を進め不祥事を未然に防止する。</p>	<p>①定期的な調査・点検による学習環境の整備や防災体制の改善を図る。</p> <p>②個々の職員の企画を活かし、日常の業務の効率化に努める。</p>	<p>①調査、点検により、不具合箇所を早期発見し、改善をする。また、夜間防災訓練の実施や保護者からの意見聴取等を行い、生徒を安全に避難させる体制を整える。</p> <p>②アンケートを行うなど、個々の職員から意見を聞き、日常の業務の効率化を図る。また、事故不祥事防止研修を毎月実施し、職員の意識を高める。</p>	<p>①環境調査、設備点検を実施し、改善を行えたか。また、防災体制の整備が図れたか。</p> <p>②業務の見直しの活動を行い、実現することができたか。</p>	<p>①環境調査を実施し、指摘された内容について改善を行った。また、避難訓練に保護者や地域住民の方にも参加いただき、防災体制について、意見を伺った。</p> <p>②業務の見直し活動を行い、組織改編を具現化することができた。</p>	<p>①引き続き環境調査を行い、学習環境の整備に努める。防災訓練や防災講演会を検討し、防災体制の整備を進めるとともに意識の向上に努める。</p> <p>②来年度、新組織で業務を遂行し、引き続き業務の見直しを行いながら、更なる業務改善に取り組む。</p>	<p>① 夜間防災訓練や防災講話に地域住民を招いたのは大変評価できる。</p>	<p>① 夜間防災訓練に地域住民を招いたことは評価できる。引き続き夜間の防災体制を充実させる必要がある。</p> <p>② 業務の見直しを行い、組織改編を実施したことは評価できるが、新組織が順調に業務を遂行できるか検証していく必要がある。</p>	<p>① 夜間の防災体制について、保護者だけでなく、地域住民からも意見を聞く場を設け、防災体制の充実を図る。</p> <p>② 組織改編の結果の検証に努めるとともに業務の見直しをさらに行う。</p> <p>③ 個々の職員が持っている課題意識の共有化を図る。</p>